



令和2年度 横浜市立宮谷小学校 学校だより 6月号

みやがや

<学校教育目標>

響き合う豊かな学びの中で自分を見つめ互いに思いやる子を育てます

【知】 学び合う楽しさを知り、問題解決に向け主体的に取り組む子を育てます。【学び合い】

【徳】 社会や学校のきまりを守り、やさしく思いやりのある子を育てます。【思い合い】

【体】 お互いの生命と体を大切にし、生涯を通してよりよく健康な生活ができる子を育てます。【気づき合い】

【公・開】 さまざまな人々と豊かなかかわり合いを大切にしながら、わたしたちのまちに誇りをもって生活する子を育てます。

【かかわり合い】

【かかわり合い】

「学校再開にあたって」

学校長 小宮 寛之

神奈川県に継続して発令されていた緊急事態宣言が解除され、本日6月1日から、横浜市においても学校が再開されることとなりました。長期間に渡った休校が終わり、子どもたちとともに令和2年度の学校生活がスタートできることに大きな喜び、安堵を感じるとともに、緊張感、危機意識を今まで以上をもって子どもたちを見守っていきたいと思います。

さて、学校再開にあたっては、「学校での感染予防」「登下校の安全確保」「学習時間の確保・カリキュラムの再編」が重要になってきますが、スタートにあたっては、「学校生活への安心の確立」も重視しなければならぬと考えています。

長期間にわたる休校によって、子どもたちが受けたストレス、心と身体への負担は、とても大きいものがあつたにちがひありません。一人一人の子どもたちに向き合い、心の状態、体の調子、休校中の課題の進捗状況等を丁寧に見ていくこと、そして、それに応じた細やかな対応をしていきたいと思ひます。様子をよく見ながらスタートし、段階的に学校生活を整えていきます。

児童数の多い宮谷小、少人数の分散登校を実施し、こまめな手洗い、換気の徹底を図ります。歩道のない狭い道の登校を考慮し、登校班での登校、兄弟が同じ登校日となるよう、地区ごとの登校班別のグループ分けにしました。また、久しぶりの学校生活、生活リズム、学習への集中力を取り戻す期間として30分単位の授業からのスタートとしました。

午後の時間には、一人一人の休校中の課題を丁寧に確認するとともに、健康観察にて気になる子どもたちへの連絡や相談の機会を設けます。

6月15日からの第二期においては、学級の全員が登校し、学級のまとまりとして、学校生活を送ることを予定しています。学習時間ももう一コマ増やし、午前中6コマの授業を計画します。下校時刻が12時15分、今までの給食なしの短縮授業であった時の下校時刻に戻していきます。

ご家庭においても心身の健康観察を丁寧に行っていただき、マスクの着用、予備マスクの準備、水筒の持参など、ご協力をお願いいたします。また、御心配な事がありましたらご相談ください。

地域の皆様、長い休校中も地域で子どもたちを見守っていただき、ありがとうございました。再開後もよろしくお願ひいたします。

今までに誰も経験したことのない状況、まだまだ油断を許さない中での学校再開です。今後の行事予定等について先が見通せず、急な予定変更も予想される状況ですが、保護者の皆様、地域の皆様と一丸となってこの難局に立ち向かっていきたいと思ひます。何卒、御理解と御協力をお願いいたします。